

〔例〕不在中の職務補充等の処置（外国出張，海外研修）

〔 教育講座/ センター〕〔教官名 〕

期間〔 2002 年 4 月 15 日～ 2002 年 4 月 30 日〕

(1)および(2)の処置にあたっては，対象生にとって無理のないスケジュールで，十分な教育効果を得ることができるかについて（特に実験・実習の場合の必要な時間の確保）留意してください。

(1) 授業に関する処置 補講は原則として，所定の「補講期間」で実施してください。

該当授業名（設定時限）	該当月日・時限	補講の方法・場所	周知方法
社会学概論（前期・月12）	4月15日 12 4月22日 12	7月30日（月曜）34 201教室 7月31日（火曜）34 201教室	4月12日に 対象学生への 説明
社会学演習（前期・月56）	4月15日 56 4月22日 56	7月30日（月曜）78 演習室 7月31日（火曜）78 演習室	
管理工学（前期・月78）	4月15日 78 4月22日 78	7月24日（水曜）12 306教室 7月24日（水曜）34 306教室	

(2) 学部学生・院生の論文指導に関する措置（授業外）

該当生	指導内容	措置の内容	周知方法
社会学専攻4回生	卒業論文指導	不在期間中の研究の進め方を 事前に指示し，帰国後にその成 果について面接し，評価する	4月12日に 対象学生への 説明
社会学専攻修士2回生	修士論文指導	同上	

(3) 講座内および委員会等の学内分掌についての処置

該当する分掌の内容	該当月日	措置の内容
〇〇教育講座主任	4月15日～29日	〇〇教育講座〇〇教官により代替
広報委員会委員	4月25日 16:30～	〇〇講座〇〇教官によって代理出席（代理可）
安全委員会	4月26日 16:30～	欠席（代理不可）

スペースが不足する場合は複数枚で書いてください。